

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 生きる力の教室やえせ(1単位目・2単位目)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	6				
	2	職員の配置数は適切である	6			児童2名を支援員1名で担当している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			玄関前等に手すりがある	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			月1の面談や毎日のMTGでPDCAを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			今回のアンケート結果もMTGで共有あり改善点を話し合った	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			HPで公表予定	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	/	/	/		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			月1の半日研修を行っている。外部研修も活用している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			HUGシステムでアセスメントを行い、月1の支援会議で分析している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			HUGシステムでアセスメントを行い、これに基づいて支援をしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			月1のプログラム会議を行い、プログラム作成・配布している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			5領域と3つの力をまんべんなく取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			療育前に児発管から目標の共有がある	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個別と小集団の療育をバランスよく行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日MTGを行い、前日や当日の療育について共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			その日の支援の振り返りは、翌日のMTGで細かく話し合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			HUGシステムで支援記録を毎日記録している	
関係機関 や保護者との 連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			3~6か月に一回程度のモニタを行い、見直している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			施設長や管理者がガイドラインの勉強会を実施してくれている	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管だけでなく、普段の支援に携わっている者が参加するようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			児童の様子に変化がある際は、登所後であっても学校に連絡し担任の先生に話を伺っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		
関係機関 や保護者との 連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			保育所等訪問支援を行っているため、スムーズに就学できるよう連携している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	/		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			地域の保健師や病院センター、病院等と連携しアドバイスをいただいている	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
携	26	6			健全児の通う学童との交流会を行った	
	27	5	1		施設長や児発管が地域の協議会へ参加している	
	28	6			帰りの引継ぎ時だけではなく、電話やショートメッセージでやり取りしている	
	29	6			ABA療育の様子や就労訓練の様子を見学いただき、ベアトレ実践している	
保護者への説明責任等	30	5	1		契約時にご説明しているが、十分ではない場合もある	規程を変更した際や、毎月の利用者負担額の手紙お渡しの際に、丁寧な説明をしていく
	31	6			引継ぎ時や保護者会の際に相談に応じているが、十分ではない場合もある	年2回の保護者会を開催しているが、保護者様が集う機会をさらに増やしたい。月1の「ゆんたく会」を5月からスタートする
	32	6			年2回の保護者会や親子遠足を行っている	保護者様が悩みをお一人で抱えてしまうことがないよう、月1の「ゆんたく会」を5月からスタートする
	33	6			保護者様からご意見を頂戴した際に、チャットワークで全員に共有。MTGで改善策を話し合っている	
	34	6			HUG連絡帳や、HPやインスタで普段の療育の様子をお伝えしている	
	35	6			個人情報の取扱ルール等は、入社時やMTGで徹底されている	
	36	6			絵カードやマカトサイン(手話)を活用している	
	37	6			子ども達が運営するカフェに自治会の方々にご来店いただいている	
	38	6			業務継続計画(BCP)を策定し公表したり、職員研修で周知している	
	39	6			職員研修で災害対応について周知したり、利用児童との訓練を実施している	
非常時等の対応	40	6			月1の「安全・虐待防止委員会」で話し合ったり勉強会を行っている	
	41	6			いかなる場合も身体拘束は行っていないが、身体拘束ルールについては職員研修等で周知している	
	42	6			日々の利用児名簿にアレルギーのある児童を明記している	
	43	6			ヒヤリハット発生時は即日報告・共有している	
		43	6			ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している